

地域振興県土警察常任委員会資料

(平成26年2月19日)

- 1 県内空港における航空便の現状・計画と利用促進対策について

【交通政策課】・・・1ページ

地域振興部

県内空港における航空便の現状・計画と利用促進対策について

平成26年2月19日
交通政策課

米子鬼太郎空港では、本年4月1日からスカイマーク株式会社による新たな路線（羽田、新千歳、那覇）が開設され、全日本空輸株式会社による羽田線も、本年3月30日から5月31日まで引き続き1日6便が維持されるとともに、10月に再度6便化されることが決定している。

また、鳥取空港においては、羽田線が本年3月30日から増便され1日5便となる。

これらにより、県内空港を発着する国内路線は6路線20往復へと拡充され、航空便による国内移動の利便性が大幅に高まることとなる。

大幅な供給座席の増加に対応するため、航空会社と県、市町村、両空港利用促進懇話会が連携し、これまで以上に関係を深化させた利用促進対策に取り組む。

1 米子鬼太郎空港の国内路線

(1) 現状と計画（平成26年3月30日～10月25日の運航計画）

航空会社	現在の運航状況		3月30日以降の計画		備考
全日本空輸	羽田	6往復/日	羽田	6往復/日	6月1日～9月30日は5往復/日。1往復機材大型化。
スカイマーク	成田	2往復/日	成田	2往復/日	
	神戸	2往復/日	神戸	2往復/日	
	茨城	1往復/日	茨城	1往復/日	神戸経由
			羽田	2往復/日	4月1日就航
			新千歳	1往復/日	
		那覇	1往復/日		
計	4路線	11往復	6路線	15往復	

(2) 利用促進対策

- 各航空会社と連携した路線PRを強化。新聞、テレビ、雑誌などでの路線PRも実施。
- 就航先の旅行会社における山陰向けツアー、山陰の旅行会社におけるツアーの造成強化

2 鳥取空港の国内路線

(1) 現状と計画（平成26年3月30日～10月25日の運航計画）

航空会社	現在の運航状況		3月30日以降の計画		備考
全日本空輸	羽田	4往復/日	羽田	5往復/日	

※政策コンテストで獲得した増便であり、平成27年度末まで増便が継続される予定。

(2) 利用促進対策

- 但馬地域との連絡バスの運行による鳥取空港アクセス向上による利用圏域の拡大対策
- 鳥取空港サポートクラブ創設による恒常的な空港利用者の確保、継続的な利用の促進

3 国際チャーター便の計画

香港旅行会社「EGLツアーズ」が、6月から8月にかけて香港から日本への連続チャーター便を計画しており、誘致実現に向けて同社及び航空会社に対して働きかけを行っていく。